

2018年8月10日(金)

仙台自分づくり教育アワードに参加して

「育ちをつなごう！学びをつなごう！」をテーマに掲げた今回の仙台自分づくり教育アワードは、中学生ボランティアの皆さんが受付や誘導、司会進行など各部署で仕事をしていたことが印象的でした。

郡和子仙台市長、共催者代表のご挨拶、功労者・特別功労者への表彰がありました。その後「仙台自分づくり夢教室」講師の、民謡歌手・庄司恵子氏のお話と歌を聴きました。庄司氏は、バリバリの仙台弁ネイティブスピーカーでした。

「9年間を見通した自分づくり教育の実践」と題し、三条中学校区3校の先生方から事例発表がありました。子ども達は、言われたことはきちんとやるけれども、指示待ちのことが多く、それを解消していくのが今後の課題とのことでした。小学校6年間と中学校3年間、合計9年間の中で、小中が関わるような行事を通じて、子ども達の積極性を育てていけたらいいと感じました。

もう一つの事例紹介では「『仙臺サイダー』誕生の秘密！」と題し、仙台商業高校の先生、生徒さん方、サイダー製造元のトレボン食品株式会社社長 鶴戸満昭氏のお話を聴きました。仙台商業高校は、男子校と女子高が統合してできた学校だそうで、その記念になる商品を作りたいと考えていたところ、仙台には「地ビール」ならぬ「地サイダー」がないから、それを作ろう！と決まり、トレボン食品さんと何度か交渉の末、採算度外視で出来上がったのが「仙臺サイダー」。「地サイダー」なのに、あまり近所の小売店で見掛けないのは、販売元が仙台商業高校で、利益追求のために販売しているわけではなく、あくまで学習活動の一環としてとのことから。製造元の鶴戸社長の本音が漏れてはいましたが…。秋保や作並の温泉宿などで販売しているそうです。今の商業高校は、商品開発からマーケティングなど、一連の流れを学びながら実践することができる上、プレゼンテーションの大会もあるようで、充実した時間を過ごせることが羨ましく思いました。

P T A会長 高松 博子